

記載例（先進的産地育成）

（様式1）

番 号
令和5年9月12日

〇〇地域県政総合センター所長

団体の所在地、団体・代表者名を記載

住所又は所在地 神奈川県〇〇市〇×▽1丁目2番地34号
氏名又は団体の名称 〇〇組合 代表 〇〇〇〇

神奈川県スマート農業推進事業計画書の提出について

このことについて、別添のとおり提出します。

神奈川県スマート農業推進事業計画書

(先進的産地育成事業)

1 補助事業者

ふりがな	〇〇くみあい だいひょう 〇〇〇〇
団体名及び代表者名	〇〇組合 代表 〇〇〇〇
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 神奈川県〇〇市〇×▽1丁目2番地34号
連絡先	電話：(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇
	携帯番号：(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇
	ファクシミリ：(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇
	E-mail：〇〇〇〇〇@〇〇.jp

2 産地の概要

		面積(a)		主な品目	
		露地	施設		
経営 耕地	水田	5,000		水稻	
	普通畑				
	樹園地	果樹			
		茶園等			
		計			
	耕地計	5,000			

3 事業内容

(1) 取組内容

管内の水稻 50ha において、ドローンによる農薬散布や肥料散布、水管理システムや直進アシスト型の田植え機の導入により、産地として農作業の省力化・効率化に取り組み、作業時間の削減を目指す。

(2) 導入機器

補助対象機器	内容 (機械名、規格等)	金額 (円)	対象作目	受益面積 (a)
ドローン	〇〇社 〇〇〇〇 5台	4,000,000	水稻	5,000
水管理システム	〇〇社 〇〇〇〇 (設置費込み)	800,000	〃	〃
田植え機 (直進アシスト)	〇〇社 〇〇〇〇 3台	15,000,000	〃	〃

(3) 補助額

補助対象経費 総額	(単位:円)				
	うち 県補助金	うち 市町村補助金	うち 自己資金	うち 融資	うち その他
19,800,000	5,000,000	4,900,000	9,900,000		

4 目標

(1) 目標値

	現状 (令和4年度)	目標 (令和7年度)	増減・備考	ポイント
労働時間あたり生産量の増加	8.1 t / 時間	26.5 t / 時間	227%増	10
受益面積の増加 (作物:)	ha	ha	ha 増	
導入する技術の数		5種類		8
プログラムに記載されている技術を導入				
ポイント計				18

※該当がない場合は記載しない。

※ポイント欄は別表に基づいて記載する。

導入する技術の効果について、
それぞれ記載

(2) 目標値の算出根拠

①労働時間あたり生産量の増加の根拠

現在、水稻 50ha において、生産量は 270 t である。作業時間は年間、田植作業に 2 時間、農薬散布に 2.5 時間、追肥散布に 5 時間、水管理に 24 時間かかっている。

直進アシスト型の田植え機の導入により、作業時間は 18% 削減できる（農研機構 HP より）。また、ドローンによる農薬散布により、作業時間は 10ha あたり 0.3 時間削減（〇〇社カタログより）、ドローンによる肥料散布により、作業時間は 33% 削減できる（農研機構 HP より）。ドローンによるセンシングにより、適期の防除、追肥が可能となり、収量は 6% 増加が見込まれる（〇〇県試験結果より）。自動水管理システムの導入により、作業時間は 80% 削減できる（農研機構 HP より）。

したがって、現状の該当する年間作業時間の合計は 33.5 時間であるが、各機器・技術の導入により作業時間は、田植では 1.64 時間、農薬散布では 1 時間、追肥では 3.35 時間、水管理では 4.8 時間、合計 10.79 時間となる。また、生産量は 286.2t になる。

よって、労働時間あたりの生産量は、現状が 8.1 t / 時間だが、事業実施後は 26.5 t / 時間となり、227% 増加する。

②受益面積の増加の根拠

③導入する技術の種類

田植え機（直進アシスト型）、ドローン（農薬散布、肥料散布、センシング）、水田の水管理システムの 5 種類。

※該当がない場合は記載しない

何種類かも記載

5 添付資料

- ・団体の規約及び役員名簿又は構成員名簿
- ・導入する機器等の見積書やカタログ、設置場所の地図等
- ・目標に記載したことが確認できる資料